

壮行式に臨む八学光星ナイン＝25日、八戸市



## 「自分たちのプレー、甲子園で」

第104回全国高校野球選手権青森大会で優勝し、3年ぶり11度目の夏の甲子園出場を決めた八学光星ナインが25日、同校で開かれた壮行式に臨んだ。全校生徒約830人を前に、メンバー一人一人が決意を披露し、聖地での活躍を誓った。

壮行式では、優勝旗などを携えたナインが在校生の拍手で出迎えられた。仲井宗基監督は「皆さんの思いを甲子園で爆発させたい。光星高校、青森県の代表として頑張る」とあいさつ。洗平歩人主将は「苦しい戦いだったが、皆さんの応援で勝ち抜くことができた。甲子園では自分たちのプレーをする」と言葉に力を込めた。

### 光星ナイン壮行式

在校生を代表し、生徒会長の田名部真心さん（3年）が「最後まで粘り強いプレーに期待している。心身共にベストな状態で大会に臨んでほしい」とエールを送った。

その後、夏の大会のベンチ入りメンバーが「笑顔を絶やさずにプレーする」「ここからさらに勝てるように頑張る」などと意気込みを語った。

ナインは前日の24日から、甲子園に向けて始動。同日は室内練習場などで打撃練習やフイジカルトレーニングといったメニューに汗を流した。25日はオフだった。8月1日に関西入りし、同3日の抽選会に出席する予定。

（福田駿）